

運用報告書 (全体版)

先進国高格付ソブリンオープン (毎月決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2009年9月29日から2019年9月19日までです。 なお、クローズド期間はありません。	
運用方針	主として、信用力が最も高い、日本を除く先進国のソブリン債を投資対象とします。 原則として、相対的に金利水準が高い5カ国のソブリン債へ、各国の通貨毎におおむね均等配分で投資します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	先進国高格付ソブリンオープン(毎月決算型)	先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンド	日本を除く先進国のソブリン債(国債・政府機関債のほか州政府債・国際機関債などを含みます。)を主要投資対象とします。
組入制限	先進国高格付ソブリンオープン(毎月決算型)	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	第3期以降、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、委託会社が決定します。	

愛称：トキ応援ファンド

第103期	<決算日	2018年4月19日>
第104期	<決算日	2018年5月21日>
第105期	<決算日	2018年6月19日>
第106期	<決算日	2018年7月19日>
第107期	<決算日	2018年8月20日>
第108期	<決算日	2018年9月19日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「先進国高格付ソブリンオープン(毎月決算型)」は、2018年9月19日に第108期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

http://www.am-one.co.jp/

お知らせ

収益分配金のお知らせ

決 算 期	1 万口当たり分配金（税込み）
第 103 期	40円
第 104 期	40円
第 105 期	40円
第 106 期	40円
第 107 期	30円
第 108 期	30円

収益分配金の支払いについて

- ・収益分配金は、取扱い販売会社において各決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。
- ・分配金再投資コースを選択されている場合のお手取り分配金は、各決算日の基準価額に基づき、お客様の口座に繰り入れて再投資いたします。

収益分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金は、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に区分され、分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本を下回る場合は、その下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

普通分配金の税率について

	所得税	復興特別所得税	地方税	計
個人の受益者	15%	0.315%	5%	20.315%
法人の受益者	15%	0.315%	—	15.315%

※2037年12月31日までは所得税の額に対し2.1%の金額が復興特別所得税として徴収されます。

※個人の受益者が有する当該受益権のうちNISA（ニーサ、少額投資非課税制度）の適用を受けているものについては非課税となります。

※上記は当ファンドの作成期末時点のものです。今後税法が改正された場合等には上記内容が変更になる場合があります。

最近5作成期の運用実績

決算期	基準価額			債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額	
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率				
	円	円	%	%	%	百万円	
第14 作成期	79期(2016年4月19日)	9,848	80	△0.4	98.2	-	994
	80期(2016年5月19日)	9,688	80	△0.8	98.4	-	974
	81期(2016年6月20日)	9,438	80	△1.8	98.4	-	943
	82期(2016年7月19日)	9,409	80	0.5	97.7	-	933
	83期(2016年8月19日)	9,004	80	△3.5	97.9	-	888
第15 作成期	84期(2016年9月20日)	8,843	80	△0.9	95.9	-	896
	85期(2016年10月19日)	8,887	80	1.4	96.8	-	899
	86期(2016年11月21日)	8,902	80	1.1	96.5	-	898
	87期(2016年12月19日)	9,188	80	4.1	96.4	-	925
	88期(2017年1月19日)	9,139	80	0.3	95.8	-	912
	89期(2017年2月20日)	9,037	40	△0.7	95.9	-	889
第16 作成期	90期(2017年3月21日)	8,962	40	△0.4	98.1	-	849
	91期(2017年4月19日)	8,686	40	△2.6	97.4	-	814
	92期(2017年5月19日)	8,843	40	2.3	97.7	-	820
	93期(2017年6月19日)	8,952	40	1.7	97.7	-	809
	94期(2017年7月19日)	9,069	40	1.8	97.3	-	802
	95期(2017年8月21日)	8,865	40	△1.8	97.6	-	772
	96期(2017年9月19日)	8,990	40	1.9	97.3	-	780
第17 作成期	97期(2017年10月19日)	9,004	40	0.6	97.0	-	765
	98期(2017年11月20日)	8,743	40	△2.5	96.6	-	728
	99期(2017年12月19日)	8,860	40	1.8	96.4	-	725
	100期(2018年1月19日)	8,806	40	△0.2	97.4	-	715
	101期(2018年2月19日)	8,320	40	△5.1	97.0	-	665
第18 作成期	102期(2018年3月19日)	8,155	40	△1.5	96.0	-	650
	103期(2018年4月19日)	8,315	40	2.5	94.9	-	641
	104期(2018年5月21日)	8,235	40	△0.5	96.0	-	614
	105期(2018年6月19日)	8,178	40	△0.2	95.8	-	597
	106期(2018年7月19日)	8,336	40	2.4	96.9	-	603
	107期(2018年8月20日)	8,121	30	△2.2	97.2	-	586
	108期(2018年9月19日)	8,151	30	0.7	96.3	-	577

(注1) 基準価額は1万口当たり(以下同じ)。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注3) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

(注4) 当ファンドは、先進国のソブリン債(除く日本)を投資対象とし、相対的に金利水準が高い5カ国へ均等に投資することを基本としていますが、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません(以下同じ)。

(注5) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は、実質比率を記載しております(以下同じ)。

(注6) 債券先物比率は買建比率-売建比率(以下同じ)。

(注7) 純資産総額の単位未満は切捨て。

当作成期中の基準価額等推移

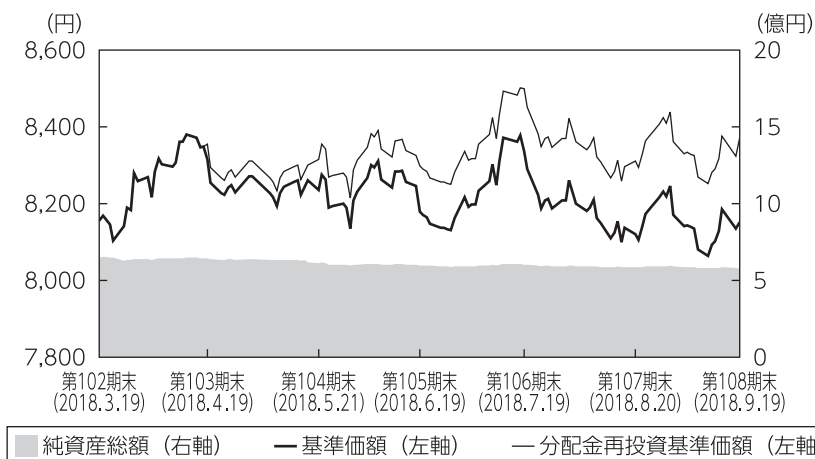
		基準価額		債券 組入比率	債券 先物比率
			騰落率		
第 103 期	(期首)2018年3月19日	円	%	%	%
	3月末	8,155	—	96.0	—
	(期末)2018年4月19日	8,258	1.3	94.2	—
第 104 期	(期首)2018年4月19日	8,355	2.5	94.9	—
	4月末	8,315	—	94.9	—
	(期末)2018年5月21日	8,230	△1.0	94.8	—
第 105 期	(期首)2018年5月21日	8,275	△0.5	96.0	—
	5月末	8,235	—	96.0	—
	(期末)2018年6月19日	8,209	△0.3	96.4	—
第 106 期	(期首)2018年6月19日	8,218	△0.2	95.8	—
	6月末	8,178	—	95.8	—
	(期末)2018年7月19日	8,162	△0.2	96.5	—
第 107 期	(期首)2018年7月19日	8,376	2.4	96.9	—
	7月末	8,336	—	96.9	—
	(期末)2018年8月20日	8,209	△1.5	96.9	—
第 108 期	(期首)2018年8月20日	8,151	△2.2	97.2	—
	8月末	8,121	—	97.2	—
	(期末)2018年9月19日	8,171	0.6	95.8	—
		8,181	0.7	96.3	—

(注1) 期末の基準価額は分配金込み。

(注2) 騰落率は各期首比。

当作成期中の運用経過 (2018年3月20日から2018年9月19日まで)

基準価額等の推移



第103期首 : 8,155円
 第108期末 : 8,151円
 (既払分配金220円)
 騰落率 : 2.7%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンド受益証券への投資を通じて、信用力の最も高い、日本を除く先進国のソブリン債に投資した結果、債券利回りは上昇(債券価格は下落)したものの、円安が進行したことなどから、基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

投資環境

債券市場では、先進国の債券利回りは上昇（債券価格は下落）しました。堅調な経済指標を背景に、米連邦準備制度理事会（F R B）が継続的な利上げを行ったことや、カナダやシンガポールにおいてもカナダ銀行（B O C）が利上げを実施し、シンガポール金融通貨庁（M A S）が金融引き締めの政策への変更を発表したことから、米国、カナダ、シンガポールの利回りは上昇しました。一方でニュージーランドでは、ニュージーランド準備銀行（R B N Z）が利下げの可能性に言及するなどハト派的な姿勢を示したことから、債券利回りは低下（債券価格は上昇）しました。

為替市場では、F R BやB O Cによる利上げを背景に米ドルやカナダドルなどが前作成期末対比で対円で上昇した一方、R B N Zが緩和的な金融政策姿勢を示したことからニュージーランドドルは前作成期末対比で対円で下落しました。

ポートフォリオについて

●先進国高格付ソブリンオープン（毎月決算型）

先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持しました。

●先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンド

前期の運用報告書に記載した今後の運用方針に従い、カナダドル建て、オーストラリアドル建て、ニュージーランドドル建て、米ドル建て、シンガポールドル建てのソブリン債を作成期を通じて概ね均等に保有しました。外貨建資産に対して為替ヘッジを行いませんでした。

債券の組入比率は高位を維持しました。

上記の通り運用を行った結果、基準価額は上昇しました。主な変動要因は以下の通りです。

[プラス要因]

- ・カナダドルや米ドルなどが対円で上昇したこと。
- ・ニュージーランドドル建てソブリン債などの価格が上昇したこと。
- ・保有債券の利息収入。

[マイナス要因]

- ・カナダドル建てソブリン債や米ドル建てソブリン債などの価格が下落したこと。
- ・ニュージーランドドルなどが対円で下落したこと。

ベンチマークとの差異について

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載していません。

分配金

当作成期の収益分配金は、安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
	2018年3月20日 ～2018年4月19日	2018年4月20日 ～2018年5月21日	2018年5月22日 ～2018年6月19日	2018年6月20日 ～2018年7月19日	2018年7月20日 ～2018年8月20日	2018年8月21日 ～2018年9月19日
当期分配金（税引前）	40円	40円	40円	40円	30円	30円
対基準価額比率	0.479%	0.483%	0.487%	0.478%	0.368%	0.367%
当期の収益	22円	17円	15円	22円	17円	20円
当期の収益以外	18円	22円	25円	17円	13円	9円
翌期繰越分配対象額	503円	480円	456円	438円	426円	416円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●先進国高格付ソブリンオープン（毎月決算型）

当ファンドの運用方針に従い、先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持します。

●先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンド

トランプ政権の強硬な通商政策は世界経済に多大な負の影響をもたらすと考えられ、市場ではリスク回避的な姿勢が強まると考えます。また米国では金利上昇に伴う家計や企業部門への悪影響が懸念される中、FRBによる利上げサイクルは最終局面に近づいているとみられ、米国の短期国債利回りが安定化から低下へ向かう中で主要国の国債利回りは低下すると考えます。為替市場では、市場のリスク回避的な姿勢が強まると予想される中、主要国通貨は対円で上値が抑えられると考えます。投資対象の5通貨の選定に関しては、各国の国債格付の動向や債券市場の流動性に留意し、基本的に金利水準が高い順に組入れを行っていきます。

第109期の期首においては、相対的に金利水準が高いオーストラリアドル建て、ニュージーランドドル建て、シンガポールドル建て、カナダドル建て、米ドル建てのソブリン債に概ね均等に投資します。

1 万口当たりの費用明細

項目	第103期～第108期 (2018年3月20日 ～2018年9月19日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	42円	
(投信会社)	(20)	(0.245)	
(販売会社)	(20)	(0.245)	
(受託会社)	(2)	(0.027)	
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	2	0.028	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.026)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(－)	(－)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	44	0.545	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

作成期中の売買及び取引の状況（2018年3月20日から2018年9月19日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第 103 期 ～ 第 108 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンド	千□ －	千円 －	千□ 51,783	千円 82,000

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2018年3月20日から2018年9月19日まで)

当作成期中における利害関係人との取引状況等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

組入資産の明細

2018年9月19日現在

親投資信託残高

種 類	第17作成期末		第18作成期末	
	□ 数	千□	□ 数	評 価 額 千円
先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンド	409,300	千□	357,517	千円 576,961

(注) 単位未満は切捨て。

※当作成期末における親投資信託の組入資産の明細は、16～17頁をご参照ください。

投資信託財産の構成

2018年9月19日現在

項 目	第18作成期末	
	評 価 額	比 率
先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンド	千円 576,961	% 98.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,820	1.3
投 資 信 託 財 産 総 額	584,781	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（571,770千円）の投資信託財産総額（577,004千円）に対する比率は99.1%です。

(注3) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年9月19日における邦貨換算レートは、1米ドル=112.30円、1カナダドル=86.50円、1オーストラリアドル=81.11円、1ニュージーランドドル=73.90円、1シンガポールドル=81.94円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

2018年4月19日現在 2018年5月21日現在 2018年6月19日現在 2018年7月19日現在 2018年8月20日現在 2018年9月19日現在

項 目	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末
(A)資 産	646,224,055円	634,474,348円	600,763,992円	606,990,743円	589,704,025円	584,781,890円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	20,585,305	11,485,471	18,487,815	9,895,778	5,493,376	7,820,609
先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンド(評価額)	625,638,750	602,988,877	582,276,177	597,094,965	584,210,649	576,961,281
未 収 入 金	-	20,000,000	-	-	-	-
(B)負 債	4,316,101	20,441,595	3,464,244	3,401,675	2,818,427	7,093,525
未 払 収 益 分 配 金	3,087,889	2,982,641	2,921,510	2,896,299	2,168,124	2,126,247
未 払 解 約 金	665,280	16,886,683	48,039	-	115,070	4,470,251
未 払 信 託 報 酬	560,708	570,032	492,736	503,401	533,150	495,091
未 払 利 息	50	28	51	26	14	19
そ の 他 未 払 費 用	2,174	2,211	1,908	1,949	2,069	1,917
(C)純 資 産 総 額(A - B)	641,907,954	614,032,753	597,299,748	603,589,068	586,885,598	577,688,365
元 本	771,972,271	745,660,384	730,377,577	724,074,871	722,708,132	708,749,273
次 期 繰 越 損 益 金	△130,064,317	△131,627,631	△133,077,829	△120,485,803	△135,822,534	△131,060,908
(D)受 益 権 総 口 数	771,972,271口	745,660,384口	730,377,577口	724,074,871口	722,708,132口	708,749,273口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,315円	8,235円	8,178円	8,336円	8,121円	8,151円

(注1) 各期末における1口当たり純資産額

(単位：円)

第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
0.8315	0.8235	0.8178	0.8336	0.8121	0.8151

(注2) その他未払費用 監査費用等を計上しています。

(注3) 第18作成期末で、純資産総額が元本を下回っており、その差額は131,060,908円です。

(注4) 作成期首元本額 797,761,866円
 作成期中追加設定元本額 10,473,302円
 作成期中一部解約元本額 99,485,895円

損益の状況

項 目	2018年3月20日から 2018年4月19日まで	2018年4月20日から 2018年5月21日まで	2018年5月22日から 2018年6月19日まで	2018年6月20日から 2018年7月19日まで	2018年7月20日から 2018年8月20日まで	2018年8月21日から 2018年9月19日まで
	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
(A) 配 当 等 収 益	3,836円	△ 1,091円	△ 735円	△ 892円	△ 468円	△ 650円
受 取 利 息	-	-	-	-	-	12
そ の 他 収 益 金	5,041	-	-	-	-	-
支 払 利 息	△ 1,205	△ 1,091	△ 735	△ 892	△ 468	△ 662
(B) 有価証券売買損益	15,982,647	△ 2,436,174	△ 729,484	14,842,697	△ 12,850,305	4,754,500
売 買 益	16,078,336	196,625	63,761	14,844,903	33,305	4,765,847
売 買 損	△ 95,689	△ 2,632,799	△ 793,245	△ 2,206	△ 12,883,610	△ 11,347
(C) 信託報酬等	△ 562,882	△ 572,243	△ 494,644	△ 505,350	△ 535,219	△ 497,008
(D) 当期損益金(A+B+C)	15,423,601	△ 3,009,508	△ 1,224,863	14,336,455	△ 13,385,992	4,256,842
(E) 前期繰越損益金	△ 145,676,395	△ 127,208,655	△ 128,610,126	△ 129,391,488	△ 116,266,697	△ 128,019,743
(F) 追加信託差損益金	3,276,366	1,573,173	△ 321,330	△ 2,534,471	△ 4,001,721	△ 5,171,760
(配当等相当額)	(40,172,235)	(37,462,891)	(35,089,901)	(32,978,406)	(31,690,239)	(30,158,406)
(売買損益相当額)	(△ 36,895,869)	(△ 35,889,718)	(△ 35,411,231)	(△ 35,512,877)	(△ 35,691,960)	(△ 35,330,166)
(G) 計 (D+E+F)	△ 126,976,428	△ 128,644,990	△ 130,156,319	△ 117,589,504	△ 133,654,410	△ 128,934,661
(H) 収益分配金	△ 3,087,889	△ 2,982,641	△ 2,921,510	△ 2,896,299	△ 2,168,124	△ 2,126,247
次期繰越損益金(G+H)	△ 130,064,317	△ 131,627,631	△ 133,077,829	△ 120,485,803	△ 135,822,534	△ 131,060,908
追加信託差損益金	1,886,815	△ 67,280	△ 2,147,274	△ 3,765,398	△ 4,941,242	△ 5,809,634
(配当等相当額)	(38,784,675)	(35,824,113)	(33,265,280)	(31,750,113)	(30,752,232)	(29,522,256)
(売買損益相当額)	(△ 36,897,860)	(△ 35,891,393)	(△ 35,412,554)	(△ 35,515,511)	(△ 35,693,474)	(△ 35,331,890)
分配準備積立金	67,995	11,052	62,960	28,288	62,499	31,096
繰越損益金	△ 132,019,127	△ 131,571,403	△ 130,993,515	△ 116,748,693	△ 130,943,791	△ 125,282,370

(注1) (B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

(単位：円)

	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
(a) 配当等収益(費用控除後)	1,761,772	1,287,690	1,147,722	1,631,440	1,262,923	1,458,335
(b) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	-	-	-	-	-	-
(c) 収益調整金	40,174,226	37,464,566	35,091,224	32,981,040	31,691,753	30,160,130
(d) 分配準備積立金	4,561	65,550	10,804	62,220	28,179	61,134
分配可能額(a+b+c+d)	41,940,559	38,817,806	36,249,750	34,674,700	32,982,855	31,679,599
(1万口当たり)	(543)	(520)	(496)	(478)	(456)	(446)
収益分配金額	3,087,889	2,982,641	2,921,510	2,896,299	2,168,124	2,126,247
(1万口当たり)	(40)	(40)	(40)	(40)	(30)	(30)

(注) (a)配当等収益(費用控除後)および(b)有価証券売買等損益(費用控除後、繰越欠損金補填後)には、各期中に親投資信託が計上した当該金額のうち、当ファンドに相当する金額が含まれています。

※本運用報告書作成時点においては、当作成期間に係る当ファンドの監査は終了していません。

－ 運用報告書（全体版） －

先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンド

第9期

決算日：2018年9月19日

(計算期間：2017年9月20日～2018年9月19日)

「先進国高格付ソブリン・ファイブマザーファンド」は、2018年9月19日に第9期決算を行いました。

ここに当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

■マザーファンドの仕組み

信託期間	信託期間は無期限です。 (当初設定日は2009年9月29日です。)
運用方針	主として、信用力が最も高い、日本を除く先進国のソブリン債を投資対象とします。 原則として、相対的に金利水準が高い5カ国のソブリン債へ、各国の通貨毎におおむね均等配分で投資します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
投資対象	日本を除く先進国のソブリン債（国債・政府機関債のほか州政府債・国際機関債などを含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
		期中 騰落率			
	円	%	%	%	百万円
5期 (2014年9月19日)	15,705	15.0	98.9	—	1,221
6期 (2015年9月24日)	16,280	3.7	98.6	—	1,075
7期 (2016年9月20日)	15,117	△ 7.1	98.3	—	874
8期 (2017年9月19日)	16,687	10.4	98.5	—	771
9期 (2018年9月19日)	16,138	△ 3.3	96.4	—	576

(注1) 基準価額は1万円当たり (以下同じ)。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

(注3) 当ファンドは、先進国のソブリン債 (除く日本) を投資対象とし、相対的に金利水準が高い5カ国へ均等に投資することを基本としていますが、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません (以下同じ)。

(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率 (以下同じ)。

(注5) 純資産総額の単位未満は切捨て。

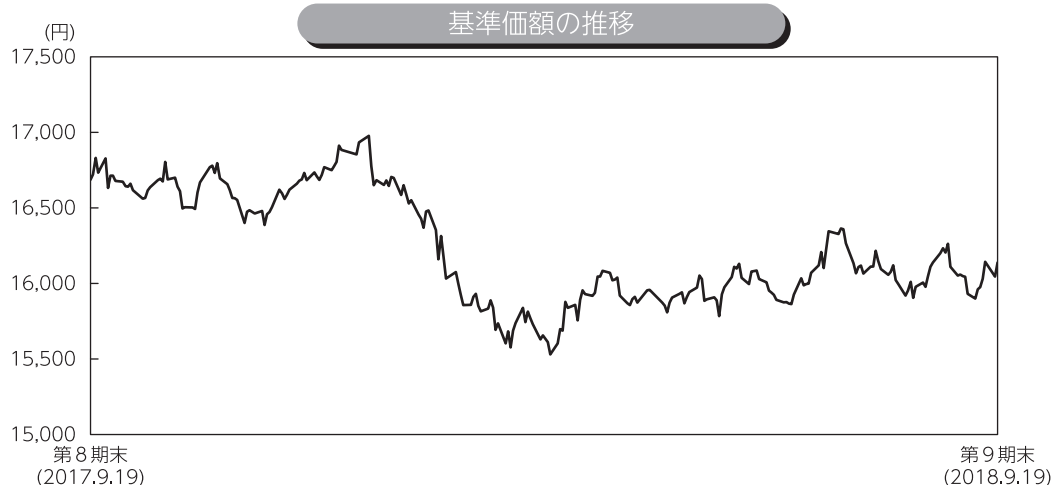
当期中の基準価額等推移

		基準価額		債券 組入比率	債券 先物比率
			騰落率		
(期首)2017年9月19日		円	%	%	%
		16,687	—	98.5	—
第 9 期	9月末	16,678	△0.1	98.4	—
	10月末	16,493	△1.2	98.0	—
	11月末	16,473	△1.3	98.2	—
	12月末	16,884	1.2	98.2	—
	2018年1月末	16,368	△1.9	97.8	—
	2月末	15,840	△5.1	97.5	—
	3月末	15,838	△5.1	97.5	—
	4月末	15,874	△4.9	97.2	—
	5月末	15,928	△4.5	98.0	—
	6月末	15,926	△4.6	98.1	—
	7月末	16,112	△3.4	97.8	—
	8月末	16,111	△3.5	98.2	—
(期末)2018年9月19日		16,138	△3.3	96.4	—

(注) 騰落率は対期首比。

当期中の運用経過 (2017年9月20日から2018年9月19日まで)

【基準価額等の推移】



【基準価額の主な変動要因】

信用力の最も高い、日本を除く先進国のソブリン債に投資した結果、先進国の債券利回りが上昇（債券価格は下落）したことや、円高が進行したことから、基準価額は下落しました。

【投資環境】

債券市場では、先進国の債券利回りは上昇（債券価格は下落）しました。12月から2月にかけては米国における税制改革や、米連邦準備制度理事会（F R B）による利上げ実施を受けて先進国の債券利回りは上昇基調で推移しました。その後は米中の貿易摩擦に対する懸念を背景に利回りが低下する局面もあったものの、F R Bが継続的に利上げを行ったことや、カナダ銀行（B O C）による利上げ、シンガポール金融通貨庁（M A S）が金融引き締め的な政策への変更を発表したことを背景に、米国やカナダ、シンガポールの債券利回りは上昇しました。一方でオーストラリアの物価や賃金の動向が軟調な推移となったことや、ニュージーランド準備銀行（R B N Z）が利下げの可能性に言及するなどハト派的な姿勢を示したことから、オーストラリアやニュージーランドの債券利回りは低下（債券価格は上昇）しました。

為替市場では、2月上旬に世界的に株価が下落したことなどからリスク回避的な円買い姿勢が強まり、投資対象の先進国通貨は対円で下落しました。その後は中央銀行による利上げなどを背景に米ドルやカナダドル、シンガポールドルは対円で上昇しました。前期末対比では、米ドルは対円で上昇したものの、カナダドルやシンガポールドル、オーストラリアドルやニュージーランドドルは対円で下落しました。

【ポートフォリオ】

前期の運用報告書に記載した今後の運用方針に従い、期を通じてカナダドル建て、オーストラリアドル建て、ニュージーランドドル建て、米ドル建て、シンガポールドル建てのソブリン債を概ね均等に保有しました。外貨建資産に対して為替ヘッジを行いませんでした。

債券の組入比率は高位を維持しました。

上記の通り運用を行った結果、基準価額は下落しました。主な変動要因は以下の通りです。

[プラス要因]

- ・オーストラリアドル建てソブリン債やニュージーランドドル建てソブリン債などの価格が上昇したこと。
- ・保有債券の利息収入。

[マイナス要因]

- ・米ドル建てソブリン債やカナダドル建てソブリン債などの価格が下落したこと。
- ・オーストラリアドルやニュージーランドドルなどが対円で下落したこと。

今後の運用方針

トランプ政権の強硬な通商政策は世界経済に多大な負の影響をもたらすと考えられ、市場ではリスク回避的な姿勢が強まると考えます。また米国では金利上昇に伴う家計や企業部門への悪影響が懸念される中、F R Bによる利上げサイクルは最終局面に近づいているとみられ、米国の短期国債利回りが安定化から低下へ向かう中で主要国の国債利回りは低下すると考えます。為替市場では、市場のリスク回避的な姿勢が強まると予想される中、主要国通貨は対円で上値が抑えられると考えます。

投資対象の5通貨の選定に関しては、各国の国債格付の動向や債券市場の流動性に留意し、基本的に金利水準が高い順に組入れを行っていきます。

第10期の期首においては、相対的に金利水準が高いカナダドル建て、オーストラリアドル建て、ニュージーランドドル建て、米ドル建て、シンガポールドル建てのソブリン債に概ね均等に投資します。

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2017年9月20日~2018年9月19日)		
	金額 (円)	比率 (%)	
平均基準価額	16,210	-	-
(a) その他費用 (保管費用)	10 (9)	0.060 (0.058)	(a) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用
(その他)	(0)	(0.002)	
合計	10	0.060	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

期中の売買及び取引の状況 (2017年9月20日から2018年9月19日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ア メ リ カ	国 債 証 券	千米ドル -	千米ドル 326
		カ ナ ダ	千カナダドル -	千カナダドル 313
	オ ー ス ト ラ リ ア	国 債 証 券	千オーストラリアドル -	千オーストラリアドル 152
		地 方 債 証 券	-	180
	ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド	国 債 証 券	千ニュージーランドドル -	千ニュージーランドドル 380
	シ ン ガ ポ ー ル	国 債 証 券	千シンガポールドル -	千シンガポールドル 442

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2017年9月20日から2018年9月19日まで)

当期中における利害関係人との取引状況等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

組入資産の明細

2018年9月19日現在

外国 (外貨建) 公社債

A 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 830	千米ドル 968	千円 108,745	% 18.8	% -	% 18.8	% -	% -
カナダ	千カナダドル 1,070	千カナダドル 1,303	112,713	19.5	-	19.5	-	-
オーストラリア	千オーストラリアドル 1,320	千オーストラリアドル 1,370	111,186	19.3	-	19.3	-	-
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 1,310	千ニュージーランドドル 1,490	110,120	19.1	-	19.1	-	-
シンガポール	千シンガポールドル 1,320	千シンガポールドル 1,384	113,427	19.7	-	19.7	-	-
合 計	-	-	556,193	96.4	-	96.4	-	-

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値より邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(注4) -印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注6) 債券の格付けは、原則として、信用格付業者等より当該債券が取得している格付けであり、複数の信用格付業者等により格付けがある場合は、その高い方を用いております。

B 個別銘柄開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	%	千米ドル	千米ドル	千円	2025/2/15
		US TREASURY N/B	2.0	130	122	13,750	2028/8/15
小 計						108,745	
カナダ	国債証券	CANADIAN GOVT		千カナダドル	千カナダドル		2024/6/1
		CANADIAN GOVT	2.5	340	343	29,710	2029/6/1
小 計						112,713	
オーストラリア	国債証券	AUSTRALIAN GOVT		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		2027/11/21
		NEW S WALES	2.75	1,000	1,008	81,831	2024/8/20
小 計						111,186	
ニュージーランド	国債証券	NEW ZEALAND GOVT		千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		2025/4/15
		NEW ZEALAND GOVT	2.75	210	216	16,010	2027/4/15
小 計						110,120	
シンガポール	国債証券	SINGAPORE GOVT		千シンガポールドル	千シンガポールドル		2029/7/1
		SINGAPORE GOVT	2.875	450	463	37,983	2024/9/1
		SINGAPORE GOVT	3.0	450	466	38,262	2027/3/1
小 計						113,427	
合 計						556,193	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 国籍は、組入資産の通貨を基準としています。

* 株式および新株予約権証券の保有はありません。

投資信託財産の構成

2018年9月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	556,193	96.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	20,811	3.6
投 資 信 託 財 産 総 額	577,004	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (571,770千円) の投資信託財産総額 (577,004千円) に対する比率は99.1%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年9月19日における邦貨換算レートは、1米ドル=112.30円、1カナダドル=86.50円、1オーストラリアドル=81.11円、1ニュージーランドドル=73.90円、1シンガポールドル=81.94円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

2018年9月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	586,152,067円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,918,879
公 社 債(評価額)	556,193,022
未 収 入 金	18,278,250
未 収 利 息	4,761,916
(B) 負 債	9,183,786
未 払 金	9,183,773
未 払 利 息	13
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	576,968,281
元 本	357,517,215
次 期 繰 越 損 益 金	219,451,066
(D) 受 益 権 総 口 数	357,517,215口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	16,138円

(注1) 当期末における1口当たり純資産額 1,6138円

(注2) 期首元本額 462,092,919円

期中追加設定元本額 0円

期中一部解約元本額 104,575,704円

(注3) 元本の内訳
先進国高格付ソブリンオープン (毎月決算型) 357,517,215円

損益の状況

(2017年9月20日から2018年9月19日まで)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	22,060,709円
受 取 利 息	22,065,568
支 払 利 息	△ 4,859
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 46,813,383
売 買 益	6,387,319
売 買 損	△ 53,200,702
(C) 信 託 報 酬 等	△ 391,956
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	△ 25,144,630
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	309,019,992
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 64,424,296
(G) 計 (D + E + F)	219,451,066
次 期 繰 越 損 益 金(G)	219,451,066

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。